

## ノートルダム清心女子大学ならではの取り組み！

### 子どもたちの学びの体験をデザイン！

### 新しい教育支援教材により子どもたちの防災意識の向上を目指す！

ノートルダム清心女子大学（岡山市北区 学長：津田葵）情報デザイン学部の研究者が開発に携わるアプリ教材を使って、附属小学校（岡山市北区 校長：西弘子）の児童に体験してもらう体験会を実施します。ご多忙の折とは存じますが、報道機関の皆様におかれましては、ぜひともご取材いただきますようお願いいたします。

#### ■教育支援プロジェクトがスタート（経緯）

プロジェクトがスタートしたのは、教育コンテンツを制作する活動を行っていた河川財団から、鈴木に協働の依頼が来たことからプロジェクトが開始したものです。鈴木研究室のウェブサイトに掲載されている過去に実施した子ども向けコンテンツやアプリ開発の実績から協働相手として声がかかったものです。

鈴木優研究室ウェブサイト <https://ulab.ndsu.ac.jp/>



アプリ画面のイメージ

#### ■新しい教育支援教材児童体験会について

### -ICTを利用した教育支援プロジェクト児童体験会-

#### 【体験会の概要】

1. アプリ教材のタイトル：雨水の行方と流域を学ぶインタラクティブ教材
2. 対象学年：教科4年生・理科（「雨水の行方と地面の様子」の単元）
3. 担当教員の研究分野との関連：教材開発の過程でインタラクティブデザインの見解を応用
4. アプリ教材の目的：雨水の行方の学びの中で、流域の概念や水災害のメカニズム等をわかりやすく伝える。流域の概念を学ぶことで防災意識を醸成する。



雨水はどこに流れていくのだろうか？  
子どもたちの興味関心が深まります

日時：2025年1月22日（水）10：55～11：35

（報道機関の受付は10：30～）別途学内地図をご覧ください。

会場：ノートルダム清心女子大学附属小学校（理科室）

#### ■プロジェクト担当教員について



担当教員：情報デザイン学部准教授 鈴木優

研究分野：インタラクティブデザイン・ヒューマンコンピュータインタラクション

研究内容：QRコードからご覧ください。

#### 研究内容



#### ■ノートルダム清心女子大学情報デザイン学部について

2024年4月に開設。リベラル・アーツ教育を基盤に、情報学やデータサイエンスを融合したカリキュラムを組んでいます。文系理系の枠組みを超えた柔軟な視点で社会の問題をとらえる力を養い、インターネットやデータ分析を活用した多様なアプローチで課題の改善・解決にあたります。これらの学びをとらえて、安全で持続可能な社会の発展に貢献できる人材を育成します。

#### 詳細はHPへ



**岡山県立図書館の魅力をSNSで発信中！**

情報デザイン学科の有志学生が参加して9月から開始。昨年末までに、学内で4回、学外で6回の活動を実施し、県立図書館の見学、県立図書館の職員とのディスカッション、他館（瀬戸内新民図書館）の視察、高校生・大学生を対象としたアンケートの設計・分析などの活動を行ってきました。

今回は、これまでに学生が学んだ県立図書館の魅力を発信する機会として、学生が手作りで記事を作成しました。県立図書館のInstagramにて配信されています。館内各所の押しポイント、図書館の枠に留まらない有料施設、館内をじっくり歩きたくなるクイズを配信しています。ぜひご覧いただき、岡山県立図書館をもっと身近にご活用いただければと思います！ 今後は、今月末に県立図書館にて、今年度の活動報告を行う報告会を実施予定です。



県立図書館のInstagramには情報デザイン学部の学生によるアイデアが満載

**高校生「夢育」PBLフォーラムで学科紹介を行いました！**

12/25(水)に本学トリニティホールで実施された「高校生「夢育」PBLフォーラム」(主催:岡山県教育委員会)の会場にて、来場者の皆さんに学科の紹介を行いました。

探究活動ではアンケートデータや実験データの分析で、情報デザイン学科で学ぶことができるデータサイエンスが必要となる場面が多くあります。当日は、探究活動の発表を行った高校生の皆さんや、高校の先生方、企業関係者の皆さんに、情報デザイン学科での学びや、在学生の具体的な生活、大学祭で行ったプロジェクションマッピングなどの企画や岡山県立図書館との協力活動の様子について紹介しました。また、情報デザイン学科で学べる情報系の科目に関する端末やネットワーク機器の展示・実演、授業の様子を収録した動画の放映なども行いました。



クリスマスに実施したフォーラムはツリーがお出迎えました

**DXハイスクール活動で生成AIを活用した実践的な教職員研修を実施！岡山大安寺中等教育学校が連携し生成AIの業務活用で教育の質向上を目指す！**

情報デザイン学科と岡山大安寺中等教育学校が連携し、生成AIの業務活用を推進するための教職員研修を実施しました。この研修は、DXハイスクール活動の一環として行われ、事務作業の効率化を図り、生徒の教育により多くの時間を割くことを目的としています。

研修には、ノートルダム清心女子大学から2名の教員（吉川隆士教授、前川浩基准教授）と2名のアシスタント役の学生が赴き、岡山大安寺中等教育学校からは約50名の教職員が参加して行われました。生成AIの概念とそれに基づいた効果的な入力方法、絵やプログラムコードの作成方法などを、実際に試しながら理解を進めました。また、著作権、ハルシネーションや、生徒の利用に対する考え方についての意見交換も行われました。

これまで生成AIを利用してこなかった教職員にとっては新たな活用のきっかけとなり、既に利用していた教職員にとってもテンプレートの使い方や生成AIに向いている作業、向かない作業についての理解が深まりました。

**■2月12日実施予定**

**DXハイスクールの活動として、生徒向けにデータ活用に関する講義と実習が行われる予定です。**



情報デザイン学部教授 吉川隆士による研修会の様子

**【お問い合わせ先】**

ノートルダム清心女子大学 情報デザイン学部 准教授鈴木優  
〒700-8516 岡山県岡山市北区伊福町2丁目16-9  
TEL : 086-250-7165 E-mail:suzu@m.ndsu.ac.jp



**【発信元】**

ノートルダム清心女子大学 広報室 (担当: 太田・林)  
〒700-8516 岡山県岡山市北区伊福町2丁目16-9  
TEL : 086-252-3107 FAX : 086-252-7035 E-mail:koho@post.ndsu.ac.jp

